

平成 30 年度 微生物（薬剤感受性）精度管理調査実施要項

臨床検査精度管理協議会

- 1 検査開始日 試料を受取り次第、検査を開始してください。
- 2 検査項目 試料中に含まれる病原細菌のアンピシリン（ABPC）、セフトキシム（CTX）メロペネム（MEPM）3 薬剤について薬剤感受性検査を実施し、日常的に臨床へ行う最終報告を入力してください。
- 3 検査方法 各施設で日常的に行っている方法で実施してください。
- 4 試料 試料 C（*Klebsiella pneumoniae*）を用いて実施してください。
- 5 試料の取扱い 試料は検査開始まで冷蔵保存してください。また、試料には病原細菌が含まれていますので、取扱いには十分注意してください。
- 6 試料の調整 試料 C はカジトン培地にて保存してあります。
※一旦、ハートインフュージョンブイヨン培地等で増菌し、平板培地にひろげた後、独立集落を釣菌してください。
(栄研化学 ポアメディア®カジトン培地 添付文書より)
- 7 報告期限 平成 30 年 11 月 30 日（金）締め切り
- 8 報告方法 日臨技システムでの報告となります。日本臨床衛生検査技師会の HP より JAMT QC に入っ
ていただき、参加登録、試料到着の登録を実施後、システムにて報告をお願いいたします
登録方法、回答入力方法については、「参加登録・回答入力要項」を参照してください。
- 9 照会先 微生物の薬剤感受性検査に関する照会は、下記担当にお願いします。
〒950-1104 新潟市西区寺地 280-7
済生会新潟第二病院 臨床検査科 千味 和宏 宛
TEL : 025-233-6161 内線 (2239)
E-mail : chimio0906@gmail.com
- 10 記入上の注意 「参加登録・回答入力実施要項」を熟読うえ、記入漏れのないようにしてください。
- 11 評価について 今年度より評価設定を行います。
評価 A ; 薬剤感受性試験、ブレイクポイント（CLSI）の判定、薬剤耐性菌のタイプ、
確認試験が正しく行われているもの。評価 D ; 上記以外のもの